



30周年

大阪市ボランティア・市民活動センター  
開設30周年記念事業

# あんなん こんなん 誰でもできるでボランティア ～情報と連携で社会参加を！～

日時

2017(平成29)年2月26日(日)

午前10時～午後4時15分

会場

ナーシングアート大阪(大阪府看護協会)

趣旨

1987年3月に大阪市ボランティアセンターとして出発した当センターは、多くのボランティアや市民に支えられ開設30周年を迎えます。大阪市内の多様なボランティア・市民活動の実践を共有しながら、今後のボランティア・市民活動のあり方について参加者のみなさんと一緒に考えたいと思います。

定員300人  
無料・要申込

プログラム

9:30～10:00	受付
10:00～12:30	分科会 9つのテーマで開催(P2～3をご覧ください)
12:30～13:30	休憩・移動
13:30～13:45	オープニングセレモニー 音楽演奏 Dream Sound Labo～piece～ あいさつ 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 会長 乾 繁夫
13:45～14:15	基調講演 「地域で安心して暮らせる“たすけられ上手 たすけ上手”のために」 同志社大学 社会学部 教授/大阪市ボランティア・市民活動センター運営委員長 上野谷加代子
14:25～16:00	パネルディスカッション パネリスト 石野 隆 (いしのでんき代表/東住吉区VC運営委員長) パネリスト 福田 留美 (NPO法人にしよどにこネット代表理事/にしよどりリンク幹事) パネリスト 塩見 恵美 (市VCときどき“記者” 東淀川区) パネリスト 岡田 裕 (「団地の寺子屋」事務局/30周年記念プロジェクトメンバー) コメンテーター 上野谷加代子(同志社大学 社会学部 教授/市VC運営委員長) 進行 石田 易司 (桃山学院大学 社会学部 教授・副学長/市VC所長)
16:00～16:15	エンディング～閉会

分科会  
1

## ええとこ、つないで、もっとええこと できまっせ!

～企業、商店の地域活動～

内容

企業や商店の社会貢献ってどんなことしたはるんやろか。みんな知ったはりますか。なかなか「ええこと」したはるとこありまっせ。まあ、聞いてください。ほんで、地域の方もしたはる「ええこと」教えてください。「ええこと」と「ええこと」掛け算したら・・・「もっとええこと」ができると思うんやけど。どうでっしゃろか。

登壇者

実践報告1 石野 隆(いしのでんき 代表)  
実践報告2 多田 修(株式会社 マルモット 代表取締役)  
実践報告3 株式会社 三菱東京UFJ銀行コールセンター(大阪)

分科会  
2

## 地域家族・居場所づくり～子どもと高齢者をつなぐ～

内容

人情味に溢れる街「おおさか」、それがわたしたち大阪人のかつての誇りでした。人口減少の時代を迎えたニッポンの大都市、次の30年に向けてどう変わっていくのでしょうか。「子どもと高齢者」を対象とした3つの実践から「地域家族・居場所づくり」をキーワードに大都市「おおさか」の変化の兆しを一緒に考えましょう。

登壇者

基調報告とまとめ 新崎 国広(大阪教育大学 教育学部准教授)  
実践報告1 山王丸 由紀子(特定非営利活動法人 フェリスモンテ 理事長)  
実践報告2 徳谷 章子(特定非営利活動法人 ハートフレンド 代表理事)  
実践報告3 松井 宏悦(「団地の寺子屋」副代表世話人)

分科会  
3

## 障がい者の社会参加～この街で暮らす～

内容

さまざまな人が出会い、語り、多様性のある街「おおさか」にしていくにはどうすればいいか。障がいがある”と”か”ない”と”か”でなく、障がい当事者や福祉施設が取り組んでいる”地域に根ざした”3つの実践から”一人ひとりの豊かな暮らしの実現”について一緒に考えます。

登壇者

コーディネーター 片山 宣博(社会福祉法人 産経新聞厚生文化事業団 事務局長)  
実践報告1 鳥屋 利治(特定非営利活動法人 あるる 代表理事)  
実践報告2 原田 徹(社会福祉法人 ライフサポート協会 住吉総合福祉センター 館長)  
実践報告3 宮脇 真佐恵(社会福祉法人 産経新聞厚生文化事業団 障害者支援施設 三恵園 管理者)

分科会  
4

## 子どもの心を温める最前線～子ども食堂、子どもシェルター、学習支援～

内容

学習遅滞、食の貧困、孤食など、悪化する子どもの環境の実情を捉え、支援活動の実際とボランティア・市民活動としての役割、今後のネットワークのあり方、支援の方法を考えます。

登壇者

コーディネーター 鈴木 大介(甲南女子大学 人間科学部 准教授)  
実践報告1 植月 智子(特定非営利活動法人 こどもの里 職員)  
実践報告2 徳丸ゆき子(NPO法人 CPAO 代表(大阪子どもの貧困アクショングループ))  
実践報告3 森本志磨子(弁護士でCVV スタッフ(社会的養護の当事者エンパワーメントチーム)、NPO法人子どもセンターぬく理事長(子どもシェルター))

分科会  
5

## 「閃き塾」オープンキャンパス!～“飛び地”に集った私たちのビフォー&アフター～

内容

地域・社会で”やりたいこと”を持ち寄って想いを実行に移す「閃き塾」という”飛び地”を2部構成でプチ体験。第1部で1期生から5期生の各代表が「閃き塾」参加前後の変化や修了後の活動等、各々のキセキを共有した後、第2部の「閃き塾」ワーク体験で年齢や職業等、多様な人とつながる”飛び地”の醍醐味を体感します!

登壇者

実践報告 閃き塾修了生のみなさん  
ファシリテーター 閃き塾修了生+  
大阪市ボランティア・市民活動センタースタッフ

分科会  
6

## HOW TO ボラセン～主体的な参加や協働をどう運営に活かしていくか～

内容

区社協のボランティアセンター化が始まって4年になります。はたしてセンター化によってボランティア・市民活動は充実したのでしょうか?充実のためには、ボランティアが主体的に関わるセンター運営が必要です。事例から、お客さんじゃない”私たち”のボランティアセンターづくりの仕掛けを考えます。

登壇者

コーディネーター 岩本 裕子(関西学院大学 人間福祉学部 非常勤講師)  
実践報告1 荒木 澄美(宝塚市社協ボランティア活動センター 所長)  
実践報告2 永井 美佳(大阪ボランティア協会 事務局長)  
実践報告3 大阪市内の区社協 ボランティア・市民活動センター

分科会  
7

## 都市災害への備えを地域の見守りの力につなげる!

～『LODE(ロード)』と『曼荼羅チャート』を実践してみませんか?～

内容

『LODE(ロード)』は、都市住民の災害自助力・互助力強化を目指した手法ですが、平時の要援護者見守り活動等、地域福祉現場での活用が期待されます。今回はLODEの実施方法を体験するだけでなく、地域においてLODEを活用していくための視点や方法をまとめた『曼荼羅チャート』についてもご説明したいと思います。

登壇者

講師 南部 美智代(特定非営利活動法人 災害ボランティアネットワーク鈴鹿 理事長)  
講師 倉原 宗孝(岩手県立大学総合政策学部 教授)  
進行 橋 直孝(生きる力を育む研究会 幹事)

分科会  
8

## 伝えたい ぼくの／わたしの ボランティア

～若者と地域の関わり方を考える～

内容

高校生、専門学校生、大学生といった若者はボランティア活動のどのようなところを楽しみ、どのようなところに苦労しているのでしょうか?また、ボランティア活動に何を求めているのでしょうか?この分科会では、事例発表とワークショップを通して、学生が地域と上手に関わるにはどうすればよいのかを考えていきます。

登壇者

実践報告1 大阪保健福祉専門学校の学生のみなさん  
実践報告2 大阪府立大学の学生のみなさん  
実践報告3 大阪市内の高校生のみなさん

分科会  
9

## 『多文化共生～内なる国際化～』

～外国から来た子どもから大人まで、みんな仲間です～

内容

在留外国人の定住化が進む中、言葉や習慣に戸惑い、孤立や不安を抱えて暮らしている人も増えています。異なる文化や価値観の違いを認め、尊重しあう関係は、誰もが安心して暮らせる社会につながります。ここでは、子どもから大人まで、すぐ隣で生活する外国から来た人々を紹介して『内なる国際化』について考えます。

登壇者

コーディネーター 藤本 伸樹(一般財団法人 アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪) 研究員)  
実践報告1 米澤 千昌(特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪)  
実践報告2 橋本 義範(NPO法人 おおさか子ども多文化センター 事務局長)  
実践報告3 筒井百合子(特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか(TIFA) 事務局長)

### ■ 申込方法

申込専用フォーム、FAX、郵送にて、下記まで申込み

### ■ 必要事項

- ①氏名(ふりがな)
- ②所属
- ③連絡先(参加券送付先住所・電話番号・FAX\*・メール\*)《\*は任意》
- ④参加希望の分科会(第2希望まで)
- ⑤シンポジウム(午後)参加の有無
- ⑥その他(車イスでの来場、手話通訳、要約筆記等が必要な方)

### ■ 申込締切

2017(平成29)年1月31日(火) 必着

※各分科会は定員があります(先着順)。必ず第2希望までご記入ください。

※2017(平成29)年2月上旬に、分科会を明記した参加券を郵送します。



所在地: 城東区鳴野西 2-5-25  
(JR 環状線「大阪城公園」駅徒歩 5分)  
(地下鉄鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅徒歩 10分)

### 《申込み・問合せ先》

大阪市ボランティア・市民活動センター (担当 石川・濱辺)  
〒543-0021 天王寺区東高津町 12-10 大阪市立社会福祉センター 1F  
電話 06-6765-4041 FAX 06-6765-5618

※申込書に記載された個人情報、本事業での利用目的以外には使用しません。

申込みはこちらから



申込専用フォーム